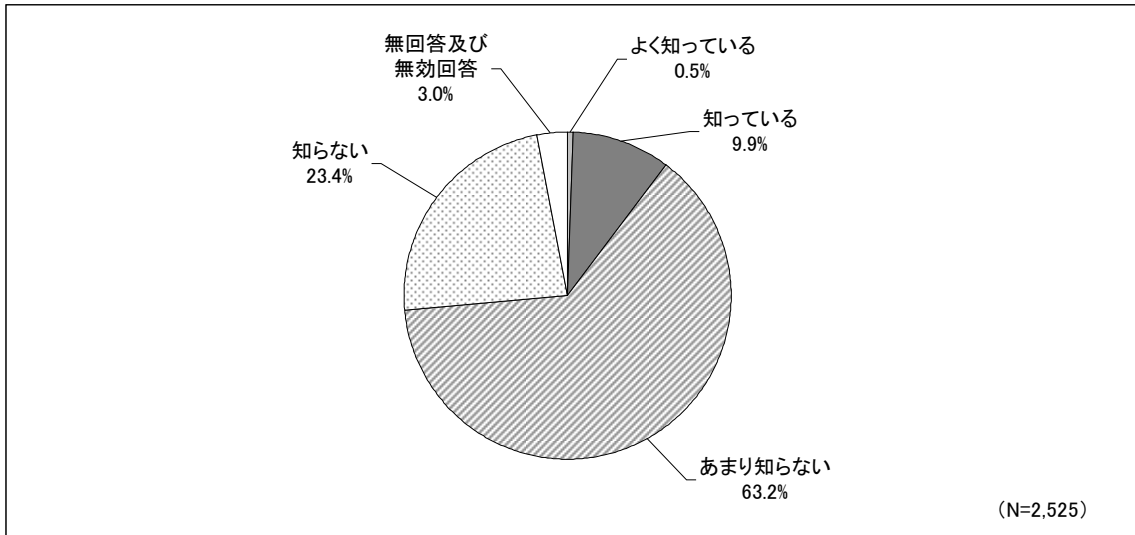


第3章 行財政改革について

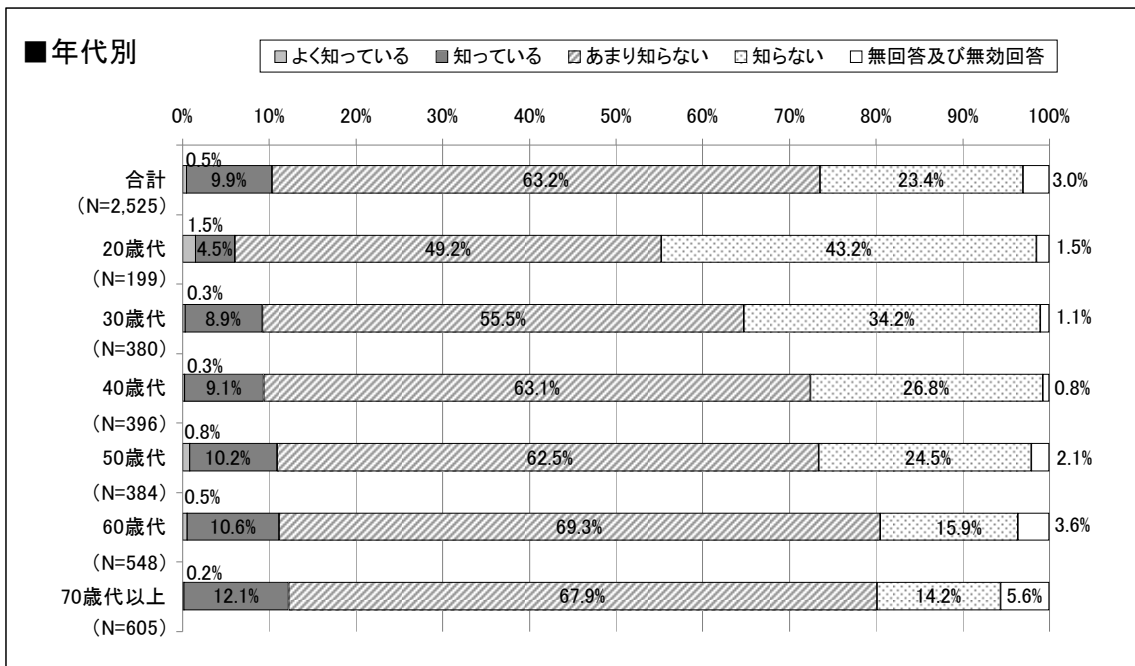
岡山市では、「職員一人ひとりの行財政改革に対する意識の向上」とともに「市民の方々に行政改革の必要性を理解していただく」ことが、市民協働の行政改革の大きな成果に結びつくものと考えています。

※市民協働とは、市民の力で新しい岡山をつくるために、地域団体、NPO、事業者など、様々な組織が協働、連携し、主体的に地域づくりを進めていくことです。

【問8】岡山市の行政改革についてどの程度ご存知ですか。

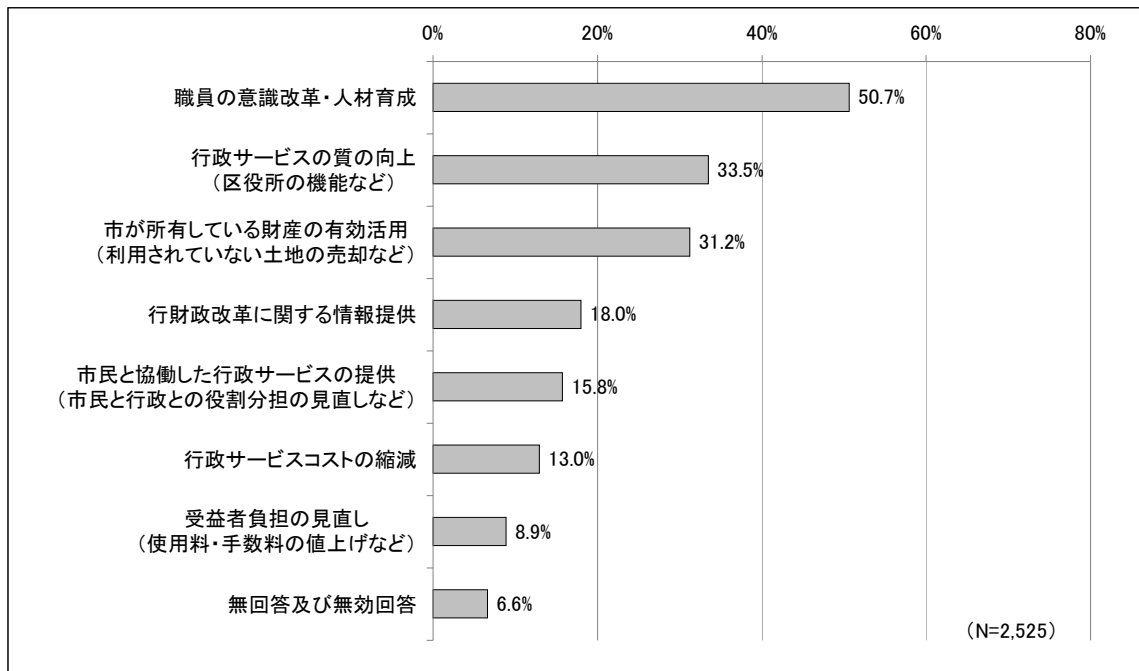


- ・「知っている」「よく知っている」と回答した人の割合は、全体の10.4%である。
- ・「あまり知らない」と回答した人の割合が最も高く、63.2%、「知らない」を含めると全体の86.6%である。



- ・年代が下がるに従って、「知らない」と回答した人の割合が高くなる傾向が見られる。
- ・20歳代では、「よく知っている」「知っている」と回答した人の割合は6.0%と最も低く、「知らない」と回答した人の割合が43.2%と最も高い。

【問9】岡山市はこれからも行財政改革を推進していきますが、今後特に積極的に取り組んでいく必要があるものを次の中からお選びください。(2つまで選択回答)



・「職員の意識改革・人材育成」と回答した人の割合が50.7%と最も高く、次いで「行政サービスの質の向上」33.5%、「市が所有している財産の有効活用」31.2%と続いている。